

平成28年度 町総合防災訓練を実施しました



訓練の想定

9月4日(日)午前8時、糸魚川―静岡構造線を震源とした内陸直下型地震が発生し、富士見町で震度6弱を観測した。この地震により、局部的に家屋の倒壊等による多くの負傷者が発生し、人的被害のほか、ライフライン等の被害も発生した。通信網は不明を想定する。

訓練の概要

ここ数年、災害対策本部の迅速な立ち上げや情報伝達訓練等に重点を置き、机上での実践的な訓練を実施してきましたが、今年は一歩踏み込み、発災後の迅速な救助、救急、ライフラインの復旧、避難者支援などの訓練を行い、減災に重点を置いた訓練を実施しました。具体的には、救助犬訓練士協会と消防団の救助訓練、町医師会および医療災害対策本部(富士見高原病院)と連携したトリアージ訓練、救護所設置訓練及び救護所と医療災害対策本部との負傷者搬送訓練に取り組みました。また全町民を対象に各自主防災会および区未加入者の安否確認訓練も行いました。

訓練の結果

被害想定を踏まえ、本部長(町長)指揮のもと人命救助を最優先に、被災状況の把握のため、各自主防災会からの情報収集、消防団長へ各団員に管轄区内のパトロールへの出動要請や救助活動要請、諏訪広域消防本部へ救助隊の派遣を要請。救助犬訓練士協会へ倒壊家屋の下敷きとなった住民の捜索要請、富士見高原病院へ医療救護本部の設置と傷病者の受入依頼、救護所の開設指示、建設事業協同組合、水道事業協同組合にライフラインの復旧依頼など、関係機関へ要請・指示があり、その情報や結果を全て災害対策本部で集約しました。

また、各個訓練の終了後、建築士会諏訪支部から災害時における建物の危険度判定についての説明、諏訪建設事務所から土砂災害についての説明を聞きました。

最後に、本部長からの講評を受け訓練は終了しました。今回の訓練を通じ、改めて各機関との連携の重要性を感じました。「防災にゴールはない」これからも、防災対策に邁進して行きます。

【当日の訓練の様子】

救助犬がガレキの中の不明者を探す



救護所からの負傷者搬送



炊出し



給水作業



道路復旧作業

トリアージ訓練



消防団による救助

日ごろの備え。地域を守るために自らできること。

- ・安否確認 ⇒ 隣近所で声をかけあい、安否を確認しましょう。
- ・初期消火活動 ⇒ 出火してしまったら、隣近所で協力してバケツリレーなどで延焼防止に努めましょう。
- ・救助作業 ⇒ 建物などの下敷きになっている人がいたら、隣近所の人と協力して救出しましょう。
- ・負傷者搬送 ⇒ けが人がいたら応急手当てをしましょう。重症の場合は病院・救護所に搬送しましょう。
- ・隣近所のおつきあい ⇒ 日頃から地域でコミュニケーションをとりましょう。

富士見町緊急メール登録方法

1. 迷惑メール対策をしている場合は、【mail@admj.biz】 アドレスを受信できるよう設定してください。
2. スマホ・ケータイのバーコードリーダーで右側のQRコードを読み取ってください。

※バーコードリーダーがない機種は、下記アドレスを直接入力してください。

<http://admj.biz/subscriber/?storeld=146>



☎ 総務課 防災危機管理係 ☎62-9326